

岡山済生会総合病院倫理審査委員会 会議の記録の概要（2026年3月分）  
（臨床研究関連のみ）

開催日時	2026年3月12日（木）16時30分～17時02分
開催場所	岡山済生会総合病院 管理棟4階 第3・4会議室
出席委員名	那須 淳一郎、桑木 健志、北村 直也、則武 有美、南石 良子、渡辺 侑里子、竹内 雄紀、山田 宗志

臨床研究について

研究課題名	当院責任者	区分	内容及び結果
末梢静脈穿刺困難症例におけるエコー下末梢静脈カテーテル留置に熟練した看護師の介入が病棟看護師の不安強度に与える影響 –タスクシェアの視点からの検討–	看護部・看護師・ 小泉匡司	単機関研究	臨床研究の実施について審査を行った 結果－承認
日本における1型糖尿病の子ども及びその主たるケア提供者の負担を評価する横断的研究	内科・医師・ 利根淳仁	多機関共同研究 （他院主管）	臨床研究の実施について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果－了承
原発性肺癌に対する右下葉切除術における#10リンパ節郭清の現状と臨床的意義	外科・医師・ 奥谷大介	多機関共同研究 （他院主管）	臨床研究の実施について報告を行い、実施許可を得たことを報告した 結果－了承
腹部CT angiographyにおける可変注入を用いた血管および臓器描出能の検証	放射線技術科・ 放射線技師・ 中川潤一	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した 結果－了承
線維柱帯切除術後の低眼圧黄斑症に対する治療成績	眼科・医師・ 泉尚志	多機関共同研究 （当院主管）	臨床研究の変更事項について迅速審査を行い、承認となったことを報告した 結果－了承
市中病院におけるがん遺伝子パネル検査の実施状況と課題に関する観察研究	内科・医師・ 藤井雅邦	単機関研究	臨床研究の終了について報告した 結果－了承
切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブにTACE療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第III相臨床研究	内科・医師・ 池田房雄	多機関共同研究 （他院主管）	特定臨床研究の他院で発生した重篤な疾病について報告した 結果－了承
積極的抗がん治療を希望されなかった膵癌の患者に対するステージ別予後の観察研究	内科・医師・ 小川泰司	単機関研究	臨床研究の実施について迅速審査を行い、承認となったことを報告した 結果－了承

<p>切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブにTACE療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第III相臨床研究</p>	<p>内科・医師・池田房雄</p>	<p>多機関共同研究 (他院主管)</p>	<p>特定臨床研究の変更事項について迅速審査を行い、承認となったことを報告した 結果—了承</p>
<p>低侵襲胃切除における術後硬膜外鎮痛法(EDA)対マルチモーダル鎮痛法(MMA)の術後鎮痛効果に関する多施設共同前向き無作為比較試験</p>	<p>外科・医師・栗田和也</p>	<p>多機関共同研究 (他院主管)</p>	<p>臨床研究の終了について報告した 結果—了承</p>